



ニハジヤ地方ノ地圖ニ枚カケ

大隈参議殿  
甲斐参議殿

明治十三年七月十日 且領事品川忠道



存上海

本便り以テ別紙内任之通外務省  
報上仕置久間仍旧其合之為ノ右  
抄出送呈仕候也

大塚内信申三拾号

大正十一年四月  
大隈参議殿 贈



外字因信オカ拾五号

馬

コロ子ルゴルドン氏、渡清ハ清國講和、徴候タルヲ論ス

ゴルドン氏ハ既ニ香港へ到リ今マ鎮台ヘン子シイ氏  
ガ宿寮トナリ尚ホ未ク本港へ到着セズ然ルニ目下  
衆人ニ是舉ニ因テ目視スル處ハ清國ハ必戦  
ノ決意アリテ然ルモノト云フ者多シ然リ而シテ今  
清國ニ取テハ徒ラニ其安議ヲ待ツ、時勢ニアラ  
サレハ幾分カ為ニ豫備ヲ為スハ不得已事平頃  
ニシテ時ニ或ハ兵員ヲシテ各所ニ派出シ彈藥ヲ  
購ハシ今又クゴルドン氏ヲ僱役スルモ蓋シ亦ク  
其故ナラント而シテ英國ノ政界若上ヨリ之ヲ見レ  
ハ若シ清俄兩國ニ事端ヲ開キ清ハ俄ニ敗

ヲ取リ戦後更ニ講和ヲ為スモ西陲邊地ノ貿易ニ便利ヲ與ヘ或ハ改權ヲ俄ニ讓ルノ難極ニ至ル亦ヲ計ルベカラス若シ果シテ到ラハ英王ノ商況ニ景仰者ヲ來レシ極ノ哀顔ヲ表スハ英王ノ於テモ千鈞ノ欲セサル處ナリ故ニゴルドン氏ハ却テ清國ニ和ヲ勸メ主戰派ヲシテ断念セシムル英國ノ政謀カ或ハ主和ノ清官ガ要具トナルモノト被察候後今ゴルドン氏ヲシテ孫子ノ軍畧アル者トスルモ其卒ル處ノ清兵ハ到底俄兵ニ對敵スル能ハサルハゴルドン氏親ウ同察明ヲ為スル處ナレハ實カ惟思スル處ハゴルドン氏ヲ奪フハ清國戦ヲ完カセルノ真意ナラン 右林具候也  
明治十三年七月ハ日 多欲子品川志道

外務省井上馨侯殿

附啓

清人傲清ノ事情ヲ察シ戦ハカルヲ勸ルノ説

俄國ノ兵艦が西國地方ハ白ク香港ヲ没セシ以來天津一帶並ニ長江各處ニ尚一層兵備ヲ整候哉ニ相聞候其意中ヲ察スルニ今清國軍アラハ日本ニアル俄國ノ軍艦ハ僅カニ二三日夜ヲ越スルモ清國ノ海ニ到リ忽チ我ヲ襲撃スルモノト知り惶々心中ニ忘レズ然レモノ如シ然レ此清人ノ内ニモ活眼智謀アル者ハ兩玉ノ現況

ヲ熟察シ論究スル事項蓋シ左ノ如シ  
清國主戦家ノ自ラ恃ム事アリ曰ク千八百六十  
年間清國ノ英佛聯合兵ニ敗テ取リシハ帝位ニ  
太平恬嬉ノ結果ニシテ如此然リ今ヤ長髮  
賊ヲ鎮定シ各ノ戦事ニ経見ルモノ清國ノ亮  
満セハ先事ヲ以テ今之ガ勝敗ヲ揣摩スヘカ  
ラスト又夕云フ現今海陸軍トモニ整備シテ銃  
鎗彈藥ヲ自國ニ大創成ス故ニ彈藥ノ輸入ヲ担止シ  
外國ノ束縛ニ逢フノ患ナシ又夕第一敗ヲ取ルモ英皇  
必ス清ヲ援ケ俄ニ抗敵スヘキハ判然知ラレタリ英國  
ノ威權各國ニ秀テ其居申講和モ亦シ他國甘シ  
テ應諾スヘシ其従前ノ例ヲ云ハハ口清ニ於テ台  
湾之難事モ竟ニ英公使ガ勸解ニ帰シ上俄

之戰ニ英亦シ居申調處セリトノ項ナリト然リト雖  
此是等ハ一トシテ恃ムヘキモノニ非ス茲ニ其故ヲ説カレ  
先キ西兵ヲ用ヒテ長髮賊ヲ鎮壓セシ後  
歐米ノ論客ニ頗ル不可ノ説ヲ鳴シタリ加之俄兵  
ヲ以テ長髮賊ト比想スル亦シ誤見ノ甚シキモ  
ノトス況ヤ亦シ英國ノ政界其機ヲ見テ表裏  
アルノ情況ヲ多シ抑モ上俄ノ向ニ嗚ヲ入レシハ  
俄國勝利ヲ得ルト雖モ早ヤ兵員ニ疲シ其力  
尽タル時ヲ量リテナリ亦シ台情ノ一事ヲ云フモ  
英皇威公使ハ只其不可ヲ知リ其義務ヲ西皇  
ニ表シタルニ止ミ事アルノ日ニ逢ハ、我レヲ援ルノ意  
ニアラガリレハ明亮ナリ故ニ邊日英國公使カ夫  
津ニアツテ清皇ニ安リシ戰ヲ開リ勿レト云ヒシモ其

結果ヲ熟視シテ清玉ニ忠告セシモノナラシ  
右ノ如クお見候是レハ此頃ニシテ其ノ如キ説  
ヲ吐露スル者有之付情野人ノ思想ヲ  
志推考シ為シ之茲ニ附啓仕ル也

外字内信第五拾六号

録事報告

寫

西境「コーカレド」ヨリ「カブル」地方へ著シタル數名ノ  
旅客ハ途中「サマルカント」ヨリ脱走シタルモノニシテ  
彼等サマルカントヲ經過ノ時ボクハラ並ニトルヤス  
タル主へ宛テ反謀ニ同盟セヨトノ密書書ヲ携帶  
スルモノニシテ俄人ニテ探出シテ竟ニ捕縛セシ  
トスルヲ免レタル者ナリト相見候

コロ子ルゴルドン氏到滬之事

曰氏ハ一昨十二日英國郵船ニテ香港ヨリ到著セリ  
同日ハ吳淞口ニ滞泊シ昨十三日著滬此地稅務  
司「ルト氏」ノ寓居ニ寄留致居候曰時香港ヨリ  
之報知ニ因テ該地ニ於テハ去ル四日到著鎮台衙

門へ寓居、用意アリタレシ、今度ハ私行ノ故ヲ以テ其  
美ヲ謝却シ、其別立リ廣東總督ノ招待ニ因リ  
護地へ赴キ、今日八月八日、英船ヲワレテ、号ニ搭坐シ  
テ茲、來著致候、曰氏清玉、入來、美ニ付テハ  
曾テ申牒仕置候區々、想像説リ唱ヘ居  
候處、著後、模様、あり候、印度太守ニ附  
屬スルキ書地官ノ業務ハ、辭退シ、本官ハ其代  
ニテ只清政府ノ招待ニ因テ、今年冬來、區ノ諸  
事ノ相談ニ預ル、為ノ暇ヲ乞ヒ、受テ上北スル、已  
テハ兵事顧問等ノ命ヲ受クルモノト、可々之  
由、多分一兩日中ニ、北京へ向行候哉ト、存候  
此地ノ知己ニ、而候、即美、英王士官ヲ辭スル哉ト  
聞ヒシニ、英王ニテ、三十年以上士官ヲ勤続セシ者ハ

兵部新則ニ關係スルハ、故ニ敢テ辭職セスト、先  
（一）昔、あり候

崇厚死刑暫免之事

此項ハ、既ニ、兵部公使、電信ニ因リ、亦、西、方、之、通  
ナレハ、別段、重復、不仕、也、地、ハ、一、日、時、別紙、英、訳  
文、之、通、あり候  
右、報、上、仕、候、也

明治十三年七月十四日 兵部事務品川忠造

外務省井上馨殿

